



【発信日】令和3年12月24日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 10番窓口）

くらし環境部環境・水循環課 田中、北村

電話 0779-64-4828 内線1603

FAX 0779-66-1118

「ゼロカーボンシティ講演会」の開催について

～市民とともにゼロカーボンシティを目指す～

本市では、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策の普及啓発や、2050年までの再生可能エネルギー導入目標などを定める「大野市脱炭素ビジョン」の策定に取り組んでいます。2月から3月にかけて、地域の脱炭素について考えるワークショップを開催し、市民からの意見をビジョン策定に繋げていきます。

そこで、気運の醸成と脱炭素人材の育成を目的に、策定に向けたキックオフイベントとして講演会を開催しますので、周知及び当日の取材をお願いします。

記

1. 日時 令和4年2月6日（日）15時 開会
2. 場所 学びの里「めいりん」（オンライン（Zoom）を併用）
3. 定員 200名（会場・オンライン各100名）
4. 参加料 無料
5. テーマ 脱炭素と地域課題の同時解決を目指して
6. 内容
 - ・講演① 『地域にとっての脱炭素の意義』
環境省廃棄物適正処理推進課放射性物質汚染廃棄物対策室 室長
大倉 紀彰（おおくら のりあき） 氏
 - ・講演② 『地球温暖化の現状と脱炭素への道を共に考える』
NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
堅達 京子（げんだつ きょうこ） 氏
7. 申込方法 電話、FAX、専用フォームのいずれか 【申込締切 2月1日（火）】

ゼロカーボンシティ講演会

「地球温暖化の現状と脱炭素への道を共に考える」開催要項

1. 現状と課題

- ①地域脱炭素ロードマップ（国 R3.6）において、2050年地域脱炭素の実現に当たって、地域の民生部門の脱炭素促進が求められている。
- ②大野市ゼロカーボンシティ宣言（市 R3.3）を実施。市民理解を深めるため、この機を捉えた大々的な普及啓発が必要。
- ③他の環境問題と比較し、市民の地球温暖化問題への関心は高いものの、我が事として捉えにくい環境にある。

2. 事業目的

- ①市民向けに講演会を開催することで、市民の脱炭素に対する理解深化を図るとともに、ゼロカーボンシティ実現に向けた機運を高める。
- ②外部講師を招聘し専門的な講演を受けることで、脱炭素関心層の市民を強く刺激し、脱炭素人材の育成を図るとともに、受講者（脱炭素人材）を通じた地球温暖化対策の広がりを目指す。
- ③参加者に、最新の脱炭素情勢を知ってもらうことで、地球温暖化防止（適応）と地域課題の同時解決に資するような行動変容を促す。

3. 事業内容（敬称略）

【期 日】令和4年2月6日 午後3時～午後5時（開場：午後2時30分）

【会 場】学びの里「めいりん」講堂

【定 員】市民200人（会場・オンライン各100人）

【テーマ】脱炭素と地域課題の同時解決を目指して

【内 容】①あいさつ・市の取組紹介（これまでの取組、現状と課題・今後の取組）

②外部専門家による講演 50分

（テーマ案）「地域にとっての脱炭素の意義」

（講演者）大倉紀彰

〔環境省廃棄物適正処理推進課放射性物質汚染廃棄物対策室長〕

③外部専門家による講演 50分

（テーマ案）「地球温暖化の現状と脱炭素への道を共に考える」

（COP26の取材も踏まえて）

（講演者）堅達京子

〔NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー〕

- 【日 程】 14:30～ 開場
15:00～ 開会・あいさつ・市の取り組み紹介
15:15～ 講演①「地域にとっての脱炭素の意義」
16:05～ 講演②「地球温暖化の現状と脱炭素への道を共に考える」
16:55 閉会

4. 申込方法等

【方 法】 電話・FAX・専用フォームのいずれか

【締 切】 令和4年2月1日（火）

5. その他

- ・講演内容をオンライン会議アプリ「Zoom」にて、オンライン上にて同時配信する。

講演者情報

大倉紀彰 氏 〔環境省廃棄物適正処理推進課放射性物質汚染廃棄物対策室長〕

- ・COP6、COP6.5、COP7 に出席し、2002 年の京都議定書締結を担当。
- ・第5次環境基本計画、パリ協定に基づく長期戦略に向けた新たな考え方の整理（H29 年版環境白書、長期脱炭素ビジョン等）を担当。
- ・直近は、2019年7月から、環境再生・資源循環局企画官として、福島復興支援を担当し、大熊町の2050ゼロカーボン宣言を支援。

他自治体事例の紹介などを交え、地域経済分析を踏まえた地域脱炭素社会の実現に向けたヒントなどを講演していただきます。

堅達京子 氏 〔NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー〕

- ・福井県出身。
- ・早稲田大学・ソルボンヌ大学留学を経て、1988年、NHK 入局。2006年よりプロデューサーに。NHK 環境キャンペーンの責任者を務め、気候変動をテーマに数多くのドキュメンタリーを制作。
- ・2021年からNHK エンタープライズに転籍。日本環境ジャーナリストの会副会長、環境省中央環境審議会臨時委員。文部科学省環境エネルギー科学技術委員会専門委員。
- ・近著に、「脱プラスチックへの挑戦 持続可能な地球と世界ビジネスの潮流」「脱炭素革命への挑戦 世界の潮流と日本の課題」（山と溪谷社）。

COP26 など最新情報を踏まえた、地球温暖化の現状や世界の潮流などについてご解説いただくとともに、脱炭素社会を生きるヒントをいただきます。